

「東京科学大学献体の会」会員ならびにご関係の皆さまへ

臨床解剖学分野では、以下の研究を行っております。皆様のご理解とご協力を何卒よろしくお願ひ申し上げます。

研究課題名：専門家の視線が映す身体観：Eye-trackingによる医学者・美術家の注視比較

東京科学大学医学系倫理委員会承認番号：I2025-226

研究期間：研究実施許可日から 2029 年 3 月 31 日まで

研究目的：

本研究は、医学者と美術家が「人体を観察する際にどのように見ているのか」を比較することを目的としています。具体的には、アイトラッキング（Eye-tracking）装置を用いて解剖体観察時の視線の動きを記録し、その違いを定量的に分析します。また、観察後には半構造化インタビューを行い、視覚的関心や注目理由を聞き取り、語られた内容を質的に分析します。

これにより、これまで漠然と語られてきた「身体観」（身体をどのように捉え、理解するかという認識のあり方）を、客観的なデータと参加者自身の語りから多層的に明らかにすることができます。

研究の対象：

本研究で用いる解剖体は、生前に「東京科学大学献体の会」に入会された方のご遺体 1 体です。その尊いご遺志に深く感謝するとともに、医学、歯学の教育ならびに研究に用いるという献体法（医学及び歯学の教育のために献体に関する法律）ならびに死体解剖保存法の精神を遵守して行って参ります。研究の実施に当たっては、日本解剖学会が定めた「解剖体を用いた研究についての考え方と実施に関するガイドライン」および「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に従って行います。ご遺族が研究利用を望まれない場合は、所定の手続きにより研究利用を辞退（オプトアウト）することができます。オプトアウトをご希望の場合は、下記連絡先までお申し出ください。

研究の内容：

本研究は、医学者と美術家が人体をどのように観察しているのかを比較することを目的としています。解剖体を観察する際にアイトラッキング装置（Tobii Pro Fusion）を用いて視線の動きを記録し、その後にインタビューを行って、どの部位に注目したのか、なぜそこに注目したのかを尋ねます。得られた視線

データや語りの内容を分析し、両者の観察の特徴や身体の捉え方の違いを明らかにします。

参加される方には、研究の趣旨を説明し、文書による同意を得たうえでご協力をお願いしています。観察は東京科学大学医学部の解剖実習室で行い、解剖体を対象としてスケッチを含む観察を実施します。観察中の視線情報（注視点・注視時間・視線の動き）を記録した後、視覚的関心や注視理由についてインタビューを行います。

収集する情報は匿名化した ID、年齢層、専門分野、経験年数などの基礎情報、視線データ、およびインタビューの音声・逐語録です。氏名などの個人情報は収集せず、音声データや逐語録は匿名化したうえで分析します。

取得したデータは、共同研究機関である東京藝術大学と共有しますが、外部データベースへの登録や第三者への提供は行いません。本研究の成果により、医学者と美術家の人体の見方の違いを客観的に明らかにし、教育や芸術、医療分野における新しい理解の促進につなげることを目指しています。

研究責任者：東京科学大学大学院 臨床解剖学分野 室生暁

〒113-8519 東京都文京区湯島 1-5-45

電話：03-5803-5390（対応可能時間帯 平日 9:00～17:00）

苦情・相談窓口：

東京科学大学 研究推進部 研究基盤推進課 生命倫理グループ

電話：03-5803-4547（対応可能時間帯 平日 9:00～17:00）